



# 平成24年度施策マネジメントシート2(平成23年度実績の評価)

## 《2 定住・交流の推進》

### 4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

時系列での比較(成果水準の推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	背景・要因 ○社会動態(転入者数全体)の減少傾向を細かく分析する余地は残るが、定住推進員のスキルアップや定住関連イベントへの参加等により、実際の移住・定住につながった件数が増加した。 ○市外からのふるさと納税者は、ふるさと会を通じた取り組みにより大きく増加した。

### 5. 施策の振り返り評価

施策の目標達成度(前年度の成果指標値に対する実績値の達成度)	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	背景・要因 ○社会動態上の増につながらないジレンマは残るが、定住推進員のスキルアップや定住関連イベントへの参加等により、実際の移住につながった件数が増加し目標を達成したと考える。 ○市外からのふるさと納税者は、ふるさと会を通じた取り組みにより大きく増加し、目標を達成した。

基本事業	取り組んだ事務事業の総括(事務事業貢献度評価:貢献した事務事業、課題が残った事務事業)
① 移住のための情報発信	・定住相談を積極的に取り組んだことが、移住人口の拡大につながった。
② 移住のための情報提供・相談の充実	・定住のための空き家確保について、市内全域の調査を実施し、85件の空き家登録を行った。
③ 交流の促進	・ふるさと会事業を通じ、市外からのふるさと納税の拡大に取り組んだこともあり、納税者数はH22年度に比べ64人の増加となった。
④	
⑤	

### 6. 今後の課題と次年度の方針(案)

区分	今後の課題	次年度の方針(案)	
施策	○定住施策による成果は向上したが、社会動態の増に直接結び付いていないため、今後とも、より雲南市の魅力を感じてもらえる、特徴のある施策の展開が必要である。	○雲南市の特色ある情報発信や事業実施を図っていく。	
基本事業	① 移住のための情報発信	○他の自治体とは違う、雲南市の特色を前面に出した情報発信が必要である。 ○効果的なイベントへの参加が必要である。	○H23年度にリニューアルした定住推進協議会HP、県定住財団HP等を効果的、積極的に活用していく。 ○UIターン希望者が多く参加されるイベントに積極的に参加していく。
	② 移住のための情報提供・相談の充実	○市内全域の空き家情報を収集し、迅速に的確な情報を提供できるようにする必要がある。 ○定住推進員の継続的な確保が必要である。	○H23年度に行った空き家調査事業の成果を活かし、移住者の増加につなげていく。○定住推進員、H24年度新規に設置した移住支援コーディネーターによる活動を充実していく。○UIターン促進空き家リフォーム事業や就農支援事業等の特徴ある定住策を実施していく。
	③ 交流の促進	○イベントの開催により、雲南市の魅力を感じてもらう必要がある。 ○ふるさと納税者数を維持していく必要がある。 ○市内の交流施設を有効に活用し、“婚活”活動を進めていく必要がある。	○田舎暮らし体験ツアーなどを通じて、雲南市ファンを増やしていく。 ○引き続きふるさと納税者の確保に努めていく。 ○結婚相談員のスキルアップを図る。
	④		
	⑤		